

# YOTSUBA の 風



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第16号 平成29年9月28日発行

## 平成29年度 全国学力学習状況調査 結果

[平成29年4月18日実施 対象：第3学年]

### 【国語】

正答率は、全国比、群馬県比共に大きく上回りました。また、校内の学力差も小さいという結果が出ました。知識に関するA問題では、全ての領域において極めて高水準な正答率となっており、基本的な知識については概ね身に付いていると考えられます。活用に関するB問題では、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国比と比べ大きく上回っています。特筆すべきは無回答率の低さで、B問題のうち、無回答はほとんどありませんでした。また、国語の勉強・授業に対する意識としては高い数値が表れており、国語の学習の必要性を感じながら、努力している様子が伺えます。

#### <今後の対策>

今後は、指導事項の焦点化や学習活動の精選を継続し、生徒が学習の成果を確認し達成感を持てる場面を増やしていきたいと思えます。また、生徒が主体的に考え、自分の考えをまとめて伝える活動を取り入れたり、短い時間で自分の考えをまとめたりする機会を増やし、表現力や記述力の向上を目指していきます。

### 【数学】

数学でも結果は良好でした。正答率は、全国比、群馬県比共に大きく上回り、校内の学力差も小さいという結果でした。A問題では、分数の乗法の計算、一元一次方程式を解く、回転体としての円錐の理解について、十分満足できる結果となりました。また、B問題では、説明を求める問題に全国的に課題がある中で、比較的良好な結果となっています。数学の勉強が好きな生徒は全国や県より高く、授業の内容もよく分かり、できるようになりたいと思っている生徒がほとんどでした。問題が分からないとき、もっと簡単に解く方法がないかを考えたり、最後まで解答を書こうと努力したという生徒の数が平均をはるかに上回りました。また、公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしたり、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いたりしている生徒の割合も全国や県を大きく上回りました。

#### <今後の対策>

・全体的には、これまでの学習の成果が十分に発揮された結果となっている。生徒の不得意領域を重点的に復習の機会を設け、基本的な用語の整理をできるような場面を増やしていきたいと思えます。また、わからない問題があったときも諦めず取り組めるように、授業においてじっくり考えさせる場面を取り入れるような指導を、今後も継続していきたいと思えます。

### 【全体総括】

四ツ葉学園では、『四ツ葉の学び』（「興味を喚起し関心を高めるための学び」「思考力を育成するための学び」「表現力を育成するための学び」）を意識した授業を全教員で行い、気づき納得することを大切に授業を行っています。この結果、思考力や判断力、表現力の伸長に非常に効果を上げてきました。今年度特筆すべきは、国語のB問題の「書くこと」の正答率の高さにあります。記述力を高めることを意識して取り組む中で、授業改善等の取組が一定の成果を上げていると考えられます。

昨年度課題とした、『授業における「グループでの話し合い」「調べたことをレポートなどにまとめる」等、各教科の内容及び学習方法を学べる機会を充実させる。』ことについて、「課題を立てて情報を集めて整理して調べて発表する」「話し合いの機会がある」「相手の話を聞き、自分の考えを伝える」といった質問項目でのポイントが全国と比較して大変高く、改善が見られました。今後も不断の授業改善を行い生徒の力を更に伸ばしていくことを目指していきます。